

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回千種生活圏の拠点づくり検討委員会	
開 催 日 時	平成29年8月8日（火）14時00分～16時15分	
開 催 場 所	センターちくさ 4階大ホール	
議長（委員長・会長） 氏 名	船曳順市	
委 員 氏 名	（出席者） 船曳順市、亀井欣也、藤原隆、森井俊二、鳥居薫、 波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己世始、 鳥羽敏美、清水一女	（欠席者） 杉本千里、井岡陽子
事 務 氏 名	宍粟市 企画総務部：坂根部長、上長次長 千種市民局：幸福局長、清水副局長、中井主査 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
傍 聴 人 数	0名	
会議の公開・非公開の 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1 開会 2 あいさつ 3 委嘱状の交付 4 委員長・副委員長の選任 5 報告・協議事項 （1）委員会の運営に関する事項について （2）地域の人口動態について （3）宍粟市地域創生総合戦略とアクションプランについて （4）「生活圏ネットワーク構想」について （5）「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」（参考）について （6）千種市民局周辺の施設配置について （7）意見交換 6 その他 7 閉会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ (印)	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
千種市民局長	<p>■ 1. 開会</p> <p>■ 2. あいさつ</p> <p>本委員会に多数出席いただきありがとうございます。</p> <p>地域創生の取組が本格化し、一宮町では昨年より生活圏の拠点づくりを進めています。千種町は今年度から計画づくりに取組むこととなります。</p> <p>千種町の人口は2,900人を割り込んでおり、地域の拠点をどのように形成していくかについて、単純な施設整備ではなく、千種町の現状を十分把握しながら、将来に引継げる拠点としていきたいと考えています。</p> <p>本日は、いろいろと説明させていただくこととなりますが、委員の皆様から意見をいただきながら計画づくりを進めていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>■ 3. 委嘱状の交付</p> <p>(委員自己紹介)</p> <p>企画総務部長より委嘱状を交付</p> <p>■ 4. 委員長・副委員長の選任</p> <p>委員長に船曳順市氏、副委員長に亀井欣也氏を選任</p> <p>(委員長あいさつ)</p>
委員長	<p>本委員会でどういったことを話し合っていくのかについて、委員全員が理解していくところから始めなければならないと思っている。最年長者ということとで長年の経験から委員長に選んでいただいたと思う。経験を活かしながら千種のまちづくりについて、皆さんと考えていきたい。</p> <p>老人会の会長も務めており、老人会の会員は毎年増えているが、子どもの数が増えない状況にある。委員として入っておられる子育て世代の方など若い方々に参加していただきながら、まちづくりを進めていく必要があると思っている。</p> <p>日本全体で高齢者が増加し、介護する人が減っている状況で、この千種町をどのようなまちにしていくのが一番いいか、皆さんと知恵を絞りながら素晴らしいまちづくりをしていきたいと考えているので、よろしく願いする。</p>
副委員長	<p>(副委員長あいさつ)</p> <p>重大な事案に関わることとなり、責任感を感じている。本委員会での意見がどの程度計画に反映されるかわかっていないので、すでに決まっている部分と、</p>

	<p>これから話し合っ決めていく部分を明確にさせていただきながら、事務局には進めていただきたい。委員長と副委員長は議事を進行しながら委員として意見も言っていくこととなるので、皆さんの理解と協力をお願いします。</p>
事務局	<p>■ 4. 報告・協議事項</p> <p>(1) 委員会の運営に関する事項について</p> <p>【資料1】【資料2】により説明</p>
委員	<p>千種生活圏の拠点づくりは、庁舎の建替えが前提となっているのか。</p>
事務局	<p>市民局庁舎及びセンターちくさは老朽化しており、施設の更新は避けて通れないと考えていますが、本委員会では、施設の建替えだけではなく、地域の人口が減っていく中で、住みやすい地域づくりや、どのように利便性を継続していくかについて議論していただきたいと考えています。</p>
委員長	<p>千種町全体のまちづくりをどのようにしていくかという話であるので、施設の整備で終わるのではなく、千種生活圏の実態を拾い上げながら、それが施設の整備に繋がればよいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>(2) 地域の人口動態について</p> <p>【資料3】により説明</p>
事務局	<p>(3) 宍粟市地域創生総合戦略とアクションプランについて</p> <p>【資料4】により説明</p>
事務局	<p>(4) 「生活圏ネットワーク構想」について</p> <p>【資料5】【参考資料】により説明</p>
事務局	<p>(5) 「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」(参考)について</p> <p>別資料「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」を計画づくりの参考イメージとして紹介</p>
事務局	<p>(6) 千種市民局周辺の施設配置について</p> <p>【資料6】により説明</p>
委員長	<p>(7) 意見交換</p> <p>今から5年先、10年先を考えると、農協のAコープや千種高校がなくなって</p>

事務局	<p>いる可能性がある。これらの施設がなくなれば千種町は大変なことになるが、そういったことも考慮しながら、千種のまちづくりはどうあるべきかについて意見を聞かせていただければありがたい。</p> <p>参考資料「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」では、子育て世代や生涯学習に関しては触れてあるが、高齢者にはあまり触れていないように思う。また、人口が減少していく中で、地域創生事業が大事になってくると思うので、そのことも勉強していただきながら、意見をだしていただければよいのではないかと思います。</p> <p>行政施設が老朽化し、建替え時期がきている中で、いったん整備すれば30～50年その施設を使っていくことになります。同じ施設を整備するのではなく、市民に使っていただきやすく、利用して喜ばれる施設にしていくために、本委員会で意見をお聞きしたいと考えています。すべての期待に応える施設を整備できるわけではありませんが、最大限意見を尊重し、それに近い施設を整備していきたいと考えていますので、そういった視点で意見をだしていただければありがたいです。</p>
委員	<p>一宮町では先行して設計など進めておられるが、千種町ではいつまでに建替えをしなければならないなど期限はあるのか。</p>
事務局	<p>【資料5】のとおり、想定しているスケジュールはあります。地域創生総合戦略の計画期間は5年間で、平成27年度にスタートし、できるだけ早い時期に地域づくりの態勢を整備していこうということで、平成31年度中での完成を目指していくこととしています。ただ、どうしてもこのスケジュールで進めなければいけないわけではなく、本委員会をはじめ、地域でも意見をいただく中で、よりよい拠点整備ができるスケジュールを検討すべきと考えています。</p>
委員長	<p>最終的には施設を建てるということだが、これまでは建てる内容が決まってから説明があるということであったが、今回は、地域の想いを活かし、地域がどのように活用するかを考えながら建てていくということなので、委員の意見が大事になってくる。今後、委員は1人で抱え込まず、千種町の将来に向けてどのような機能があればよいか周囲の意見も聞きながら意見をだしていただければよい。今日のところは気軽に発言いただければよいので、よろしく願います。</p>
委員	<p>電車がいないので、拠点施設にはバスターミナルが必要となる。これから先、買い物の仕方が変わり、自動運転技術なども発達していると思うが、ローソン</p>

	<p>のように 24 時間営業を考える必要がある。施設は今よりも少し大きくしてもいいが、用事をすませやすくするため、周辺施設の集約化を考える必要がある。また、海水面が上がっても、施設まで水がくることはないので、高さは必要ないかと思う。</p> <p>千種町は自然を活かしていくべきだと思う。二酸化炭素の取引まではできないかもしれないが、治山を進めることで酸素や水を売るということを考えるべき。市の計画には森林を創るとあるが、森林を創ると水ができる。千種町は「川魚に親しむまち」というキャッチフレーズがあったが、安定して水がないことが原因で、釣りをする人も少なくなっている。企業誘致は難しいと思うので、水を商売にしていくことを考えてなくてはいけない。</p> <p>50 年も先のこととなると、どうなっているかわからないので、今あるだけの知識だけでいいのかという思いもある。昔の流行りも今みると古くさい感じがするので、相当に奇抜なことをしてもいい。ドローンや AI、自動運転なども考えてもいいのではないか。</p>
委員	<p>千草自治会では公民館がなく、総会などセンターちくさを利用しているので、施設の建替え時は考慮いただきたい。また、これからの委員会では、地元の役員にも意見を聞いて話をしていきたい。</p> <p>30 年以上も先になると、かなり高齢化が進んでいる。私の子どもが姫路に家を建てて住んでいるが、私がいなくなり、妻が独りになったときに、子どもに姫路に来よう言われれば、住み続けるかどうかわからない。千草は商店街があり、生活しやすいが、集落部では豪雪などで身動きできなくなることもある。無理かもしれないが、室内を仕切ってシェアハウスのように使うことができる施設になればよい。</p>
委員	<p>センターちくさでコーラスの練習をしているが、ホールは文化交流の場として大事だと思っている。ホールが良ければ演奏会やいろんな人を呼んでイベントも開催できる。良いピアノが設置してあるので、ステージをもう少し広くしてほしい。</p> <p>センターちくさにミラーボールがなぜあるのかと思っていたら、昔は披露宴会場として利用していたらしく、そういう時代もあったのかと思う。いろんなことを考えて、意見をだしあって反映していかないといけない。</p>
委員長	<p>昔はセンターちくさで結婚式をしていた。エーガイヤにも居住機能があり、過去に 1 組だけ使われたそうだが、あまり知られていない。こういった機能の活用も考えていいと思う。また、ミニ文化会館を 1 階にして 2 階を庁舎機能にしてはどうかなど、夢のようなことも話しながら考えていければいい。</p>

委員	<p>エーガイヤは保健・医療・福祉など地域包括ケアの拠点として市民に親しまれている。新たな拠点づくりの前にエーガイヤの拠点について、宍粟市がどう考えているのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>エーガイヤは地域の拠り所になっていると思っています。診療所が併設し、複合的な施設として運営しています。一宮町では、一宮保健福祉課までの距離が少し離れていたため、利便性を高めるために市民局庁舎に含めて考えています。千種町では、保健福祉課を移設するかについて方向性をだしていませんが、施設に定着していると思っています。</p> <p>また、施設ではなく、拠点同士を合わせる仕組みを作っていくことが大事で、どのサービスをどこで受けたいか。そのために、どんな仕組みが望まれているかを考えると、必ずしも一緒になければいけないわけではないと考えています。エーガイヤという施設は活かしていきたいという思いをもちながらも、もっとこんな方法があるといった意見があればいただきたいと考えています。</p>
委員	<p>一宮町の拠点づくりでは、一宮保健福祉課が市民局に入るという方向性だと事務局からいわれている。社会福祉協議会が残される状況になるわけですが、千種町でも千種保健福祉課が新たな拠点づくりにいくと、残されている立場の拠点をどう保っていくか、一宮町もそうだが、エーガイヤも老朽化していく中で、同じ方向で考えてもらわなければ、現実的にどうしようとなるので、一緒に考えていっていただきたい。</p>
事務局	<p>拠点としては、ある程度の距離感があるものを想定しています。広い市域において、小売店や郵便局、銀行などがあり、コンパクトな範囲で目的をすませるように、概ね1 km程度のイメージをもっています。一宮町と千種町では、その距離感が異なっていることを前提として話をさせていただいてはどうかと思います。</p>
委員	<p>ふるさと芸能大会や結婚式など千種町の皆が楽しいことができるような交流の場として、山崎文化会館のように音楽や芸能大会などができるホール機能が充実すればという思いがある。</p>
委員	<p>確定申告のときなど、必要な証明書を揃えるために市民局とエーガイヤを歩き来しなくてはならず、高齢な方にはとり忘れもあり、何度も行っていただくことがある。千種保健福祉課が市民局と一緒にいなくても、市民局とエーガイヤの千種保健福祉課にいったときに必要な書類をその場で揃えることができ</p>

	<p>る体制を構築してほしい。また、千種には娯楽施設がないので、皆が一同に介して楽しめる場所づくりをしてほしい。</p>
委員	<p>拠点づくり計画のことを、いろんな地域・年代の人に知ってもらうための方法を考えていただきたい。地域のいろいろな人に計画づくりがどう進んでいるのかという報告と、意見を聞くことができる場を作っていただき、多くの人と考えながら、拠点づくりの話が進めていけるような会になればいい。</p>
委員	<p>防災面では庁舎が必要だと思うし、先ほどから文化や交流について話がでていますが、千種町にいけばあんな施設があるということで、市内からも利用しに来ていただけるような機能があればよい。</p>
委員長	<p>エーガイヤは、健康づくりのエリアにしようとして診療所を移転し、行政の福祉部門と社会福祉協議会も入っている。市民からすると行政と社会福祉協議会の福祉に違いはないので、内容によって、利用者を振り回すことがないよう、すぐに繋げる体制が大事になってくる。</p> <p>また、文化・娯楽施設が千種町にないので、施設を建替えるときは、そんな場所がほしいという希望は持っている。1つの声として聞いていただきたい。</p> <p>委員から意見がでていて多くの人の意見を聞くことについては、必要なことだと思うが、聞くばかりでなく、まとめていかなければいけない。それらの声をまとめてほしいということで委員を委嘱されているので、委員が多くの人の意見を吸い上げていただき、この場に意見として反映していただければと思う。</p>
事務局	<p>今の波賀市民局を建築するときにも、この委員会と同じようなプロジェクトチームがありましたが、設計業者の意向を理由にプロジェクトチームの意見が反映されませんでした。そのことにより、使いにくいところが残った施設整備になってしまったという経験をもっています。</p> <p>また、平成27年度に計画した「どがいじゃろえ地域プラン」は、千種町の中心部や隣接する自治会からの意見をとりまとめて掲載しています。決定事項ではありませんが、同計画には市民局庁舎やセンターちくさ及びその周辺整備についても意見をいただいていますので、これから拠点づくりを考えていただくにあたり、参考に見ていただければと思います。</p>
事務局	<p>先ほどの一宮町の社会福祉協議会の件は、健康福祉部と調整しているところですので、結果についてはご報告させていただきます。また、一宮町の場合は、企業や郵便局、JAなど拠点への参加を呼びかけており、その他にも35歳以下の消防団員との座談会など予定しています。具体的にどんな施設ができるかは</p>

委員	<p>これからになります。現在、設計コンペをしているところですので、今後、ふれあいミーティングなどを通じて各種団体や地域の方々から意見を聞かせていただきながら、進めていこうとしています。</p> <p>生活圏の拠点づくりについて、地域で説明を聞きたいということになれば、宍粟市のふれあいミーティングで説明にきていただくことができるか。また、簡単にわかりやすい資料でお願いしたい。</p>
事務局	<p>ふれあいミーティングで依頼があれば、説明に伺います。</p>
事務局	<p>■ 5. その他</p> <p>(1) 各団体構成員の皆様への幅広い周知について</p> <p>事務局としても拠点づくりについて幅広く意見をいただき、ホームページや広報などを使って早めに情報をお知らせしたいと考えていますが、昨年開催しました一宮町の検討委員会では周知不十分ではないかと指摘を受けているのも事実です。本日の会議資料はホームページで直ちに公開するとともに、会議録は1ヶ月ほどかかりますが、委員の皆様を確認していただいた後、同様に公開していきます。</p> <p>宍粟市からも機会があるたびに情報発信していきますが、口コミが有効だと思います。委員の皆様は各団体の代表できていただいておりますので、各団体へ持ち帰っていただき、ふれあいミーティングという形で説明させていただく制度もありますので、幅広い周知に協力をお願いします。</p> <p>(2) 次回の開催日程について</p> <p>平成29年9月6日(水)を候補日として調整</p>
副委員長	<p>4. 閉会</p> <p>まちづくりというテーマでは話が大きくなりすぎますので、今後は的を絞って話し合っていければと思います。本日はお疲れ様でした。</p>